

## 平成18年7月度 販売電力量

### 1. 概況

7月度の販売電力量は72億3百万kWhとなり、前年に対し+1.7%と4か月連続で前年を上回った。

#### (1) 一般需要(販売電力量合計から大口電力を除いたもの)

6月の気温が前年に比べ低めに推移したことによる冷房需要の減少はあるものの、商業施設の新規出店などによる業務用電力の伸びなどから、前年並みとなった。

平均気温(九州7県平均) ( )

	6月				7月			
	上旬	中旬	下旬	平均	上旬	中旬	下旬	平均
実績	21.7	23.7	25.1	23.5	26.4	28.9	27.5	27.6
前年差	1.5	0.0	2.1	1.2	0.1	1.3	1.0	0.0
平年差	0.0	0.9	1.1	0.7	0.7	1.8	0.3	0.7

#### (2) 大口電力需要

パルプ・紙を除く主要業種において販売電力量が増加したことから、前年に対し+6.3%と31か月連続で前年を上回った。

### 2. 用途別実績

(千kWh, %)

		実績	前年比	年度累計 前年比	
特定規模 需要以外 の需要	電 灯	2,191,116	100.9	102.5	
	電 力	低 圧	499,264	92.2	93.3
		その他	70,352	86.5	93.4
	電灯・電力計		2,760,732	98.8	100.7
特定規模 需要	業 務 用	1,793,844	102.6	104.1	
	産 業 用	2,648,220	104.5	104.9	
	特定規模需要計	4,442,064	103.7	104.6	
販売電力量合計		7,202,796	101.7	103.0	
(注): 産業用電力には、その他電力を含む					
(再掲)	一 般 需 要	5,153,750	100.0	101.7	
	大 口 電 力	2,049,046	106.3	106.5	

### 3. 大口電力産業別実績

(千kWh, %)

		実績	前年比	年度累計 前年比
機 械	電 気	557,186	105.7	105.3
	輸送用	112,243	108.2	113.8
	その他	45,974	110.2	111.3
	計	715,403	106.4	106.9
	鉄 鋼	199,247	112.6	107.5
化 学	189,696	123.2	114.4	
窯業土石	103,143	106.6	114.7	
(セメント)	60,390	97.1	111.0	
食 料 品	173,848	107.4	108.4	
パルプ・紙	23,791	73.5	81.3	
非鉄金属	100,665	114.0	111.1	
その他	543,253	99.7	101.8	
合 計		2,049,046	106.3	106.5

(参考) 電力各社別販売電力量(18年7月)

(百万kWh, %)

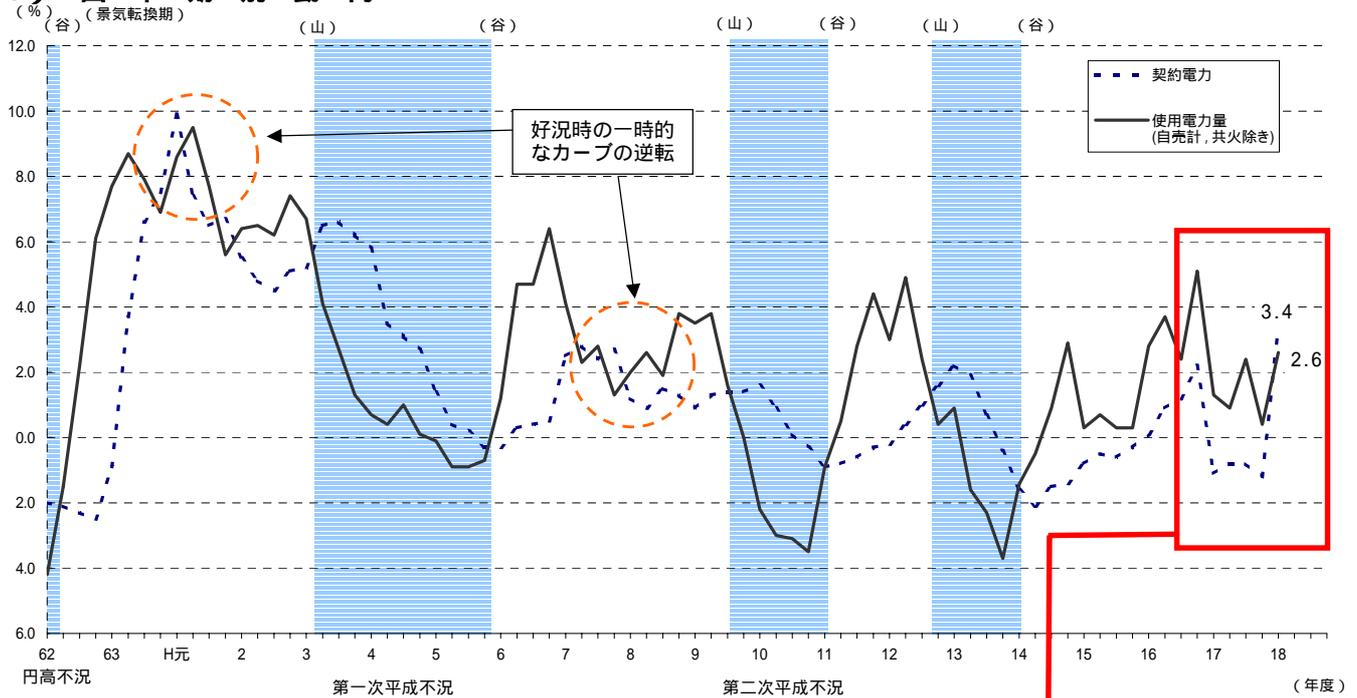
		北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	合計	
実 績	特定規模 需要以外 の需要	電 灯	807	1,671	7,134	2,693	505	3,829	1,340	709	2,191	20,879
		電 力	128	343	1,162	644	121	687	256	178	570	4,089
		電灯・電力計	935	2,014	8,296	3,337	626	4,516	1,596	887	2,761	24,968
	特定規模 需要	業 務 用	655	1,350	6,787	2,056	474	3,231	941	636	1,794	17,924
		産 業 用	755	3,021	9,395	5,923	1,221	5,198	2,521	914	2,648	31,596
		特定規模需要計	1,410	4,371	16,182	7,979	1,695	8,429	3,462	1,550	4,442	49,520
販売電力合計		2,345	6,385	24,478	11,316	2,321	12,945	5,058	2,437	7,203	74,488	
(再掲) 大口電力		505	2,268	7,602	4,690	960	4,159	2,101	681	2,049	25,015	
前 年 比	特定規模 需要以外 の需要	電 灯	101.8	100.1	97.2	99.4	99.3	98.3	98.0	97.6	100.9	98.6
		電 力	96.3	94.7	92.6	93.8	91.0	90.1	89.1	89.7	91.5	92.1
		電灯・電力計	101.0	99.1	96.5	98.3	97.6	96.9	96.4	95.9	98.8	97.4
	特定規模 需要	業 務 用	100.7	101.2	100.6	100.9	100.2	98.0	98.9	102.8	102.6	100.4
		産 業 用	101.5	104.6	101.7	103.7	103.7	103.6	105.6	103.7	104.5	103.3
		特定規模需要計	101.1	103.5	101.2	103.0	102.7	101.4	103.7	103.3	103.7	102.2
販売電力合計		101.1	102.1	99.6	101.5	101.3	99.8	101.3	100.5	101.7	100.6	
(再掲) 大口電力		104.5	106.7	102.3	105.0	105.4	105.2	107.5	105.4	106.3	104.7	

(注) 1. 電気事業連合会統計委員会の資料による。当社以外は速報値。 2. 個々の数値と合計欄の数値は、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

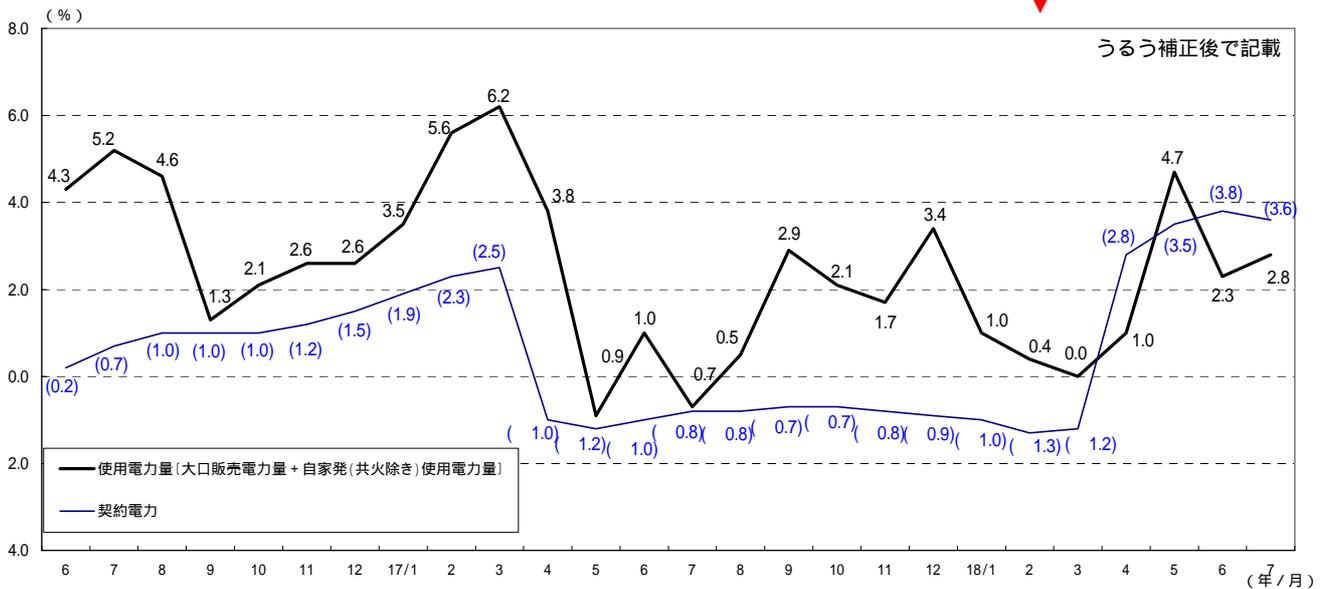
以上

## 大口電力の契約電力と使用電力量の推移（大口カーブ）

### （１）四半期別動向



### （２）月別動向



### 大口カーブについて

大口カーブは一般的に、「使用電力量」が生産活動の活発さを、「契約電力」が工場などの生産能力と、設備投資の伸びを反映しており、好況時には使用電力量の伸びが契約電力の伸びを上回り、不況時にはその逆の現象が起こります。

平成18年7月は、「使用電力量」の伸びが「契約電力」の伸びを下回りましたが、これは、企業の設備投資が活発であったことや、「使用電力量」の高い伸びが一巡した影響と見られます。

このような一時的な大口カーブの逆転現象は過去の好況時にも起こっており、「使用電力量」、「契約電力」ともにプラスの状態での現象であることから、直ちに景気動向の陰りを示すものではないと考えられます。

